

業務用建物床面積の推移

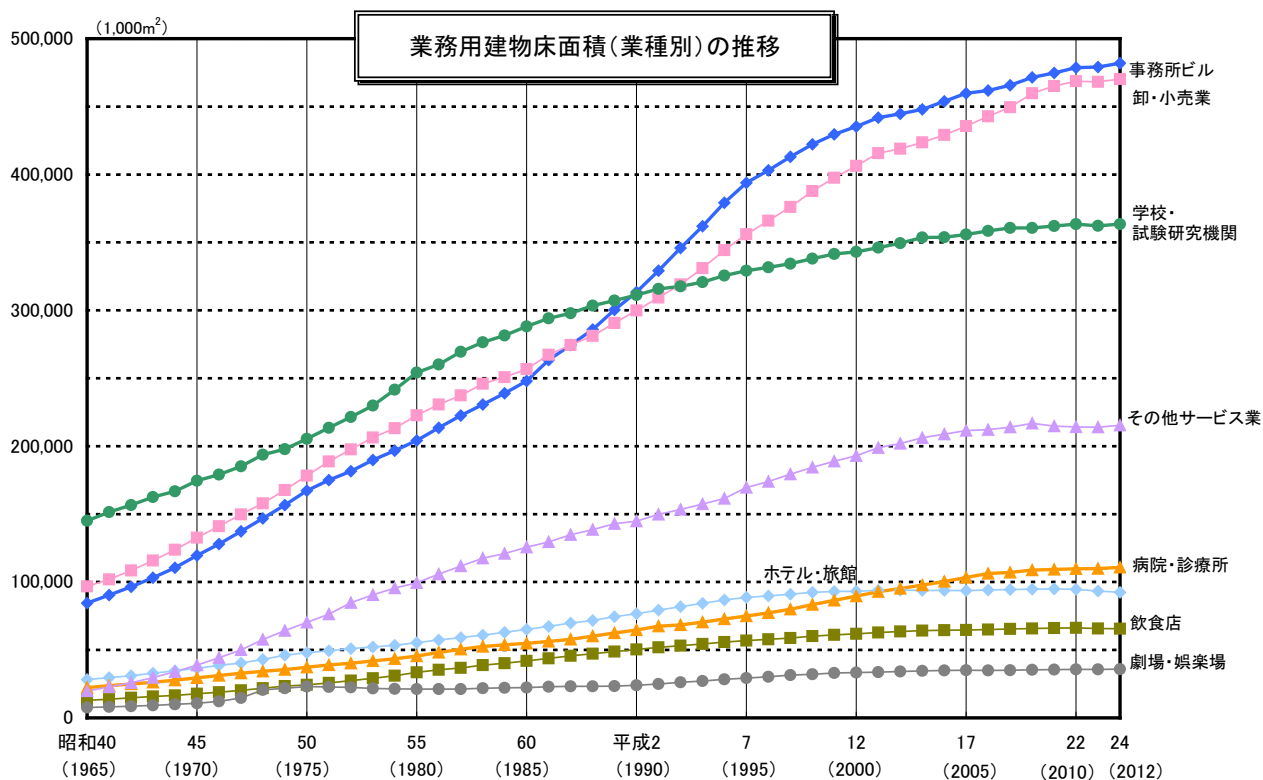
平成24年度の業務用建物床面積は18億3,566万㎡と推計された。伸び率は前年度比0.4%増となった。

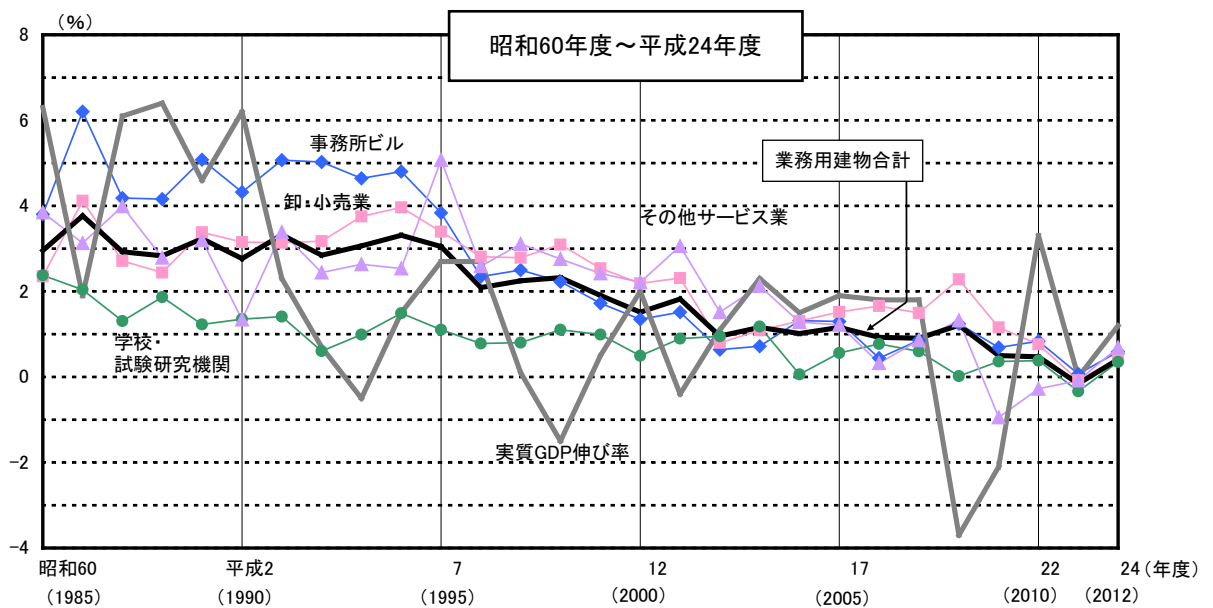
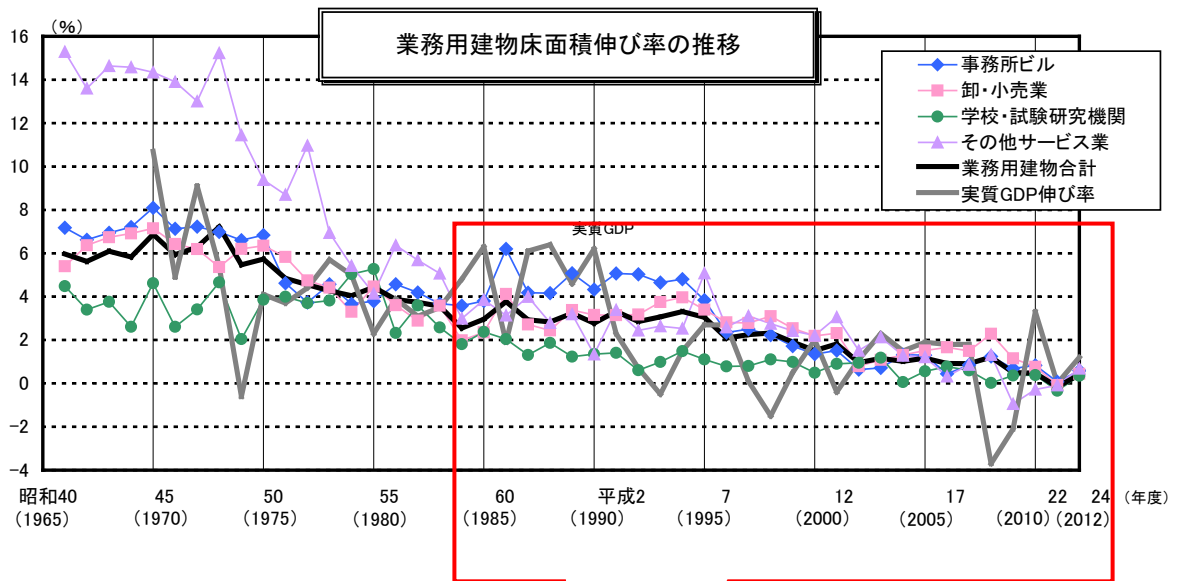
「事務所ビル」の床面積は4億8,187万㎡で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比26.3%を占める。伸び率は前年度比0.6%増となった。事務所ビル全体の約8割を占める事務所・銀行（非木造）の床面積も、前年度比0.6%増と増加を続けた。

「卸・小売業」の床面積は4億7,030万㎡で、全体の25.6%を占める。伸び率は前年度比0.4%増となった。内訳では、卸・小売業の約85%を占める非木造の店舗は、同0.8%増と増加したものの、木造の併用住宅は同2.4%減と引き続き減少している。

「学校・試験研究機関」の床面積は3億6,347万㎡で、全体の19.8%を占める。伸び率は前年度比0.4%増となった。内訳では、大学が前年度比1.6%増とこの業種の中では堅調に増加している。一方、短期大学（同6.1%減）、幼稚園（同0.4%減）、高等学校（同0.3%減）は減少傾向が続いている。

その他の5業種では、「病院・診療所」の伸び率は前年度比0.8%増、「その他サービス業」は同0.7%増、「劇場・娯楽場」は同0.4%増となった。一方、「ホテル・旅館」は同1.1%減、「飲食店」に関しては同0.2%減となった。





お問い合わせ : report@tky.ieej.or.jp